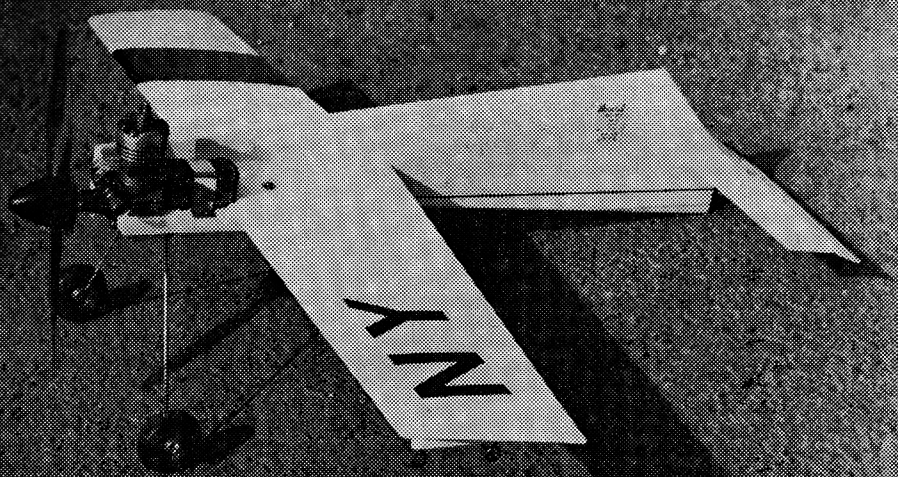
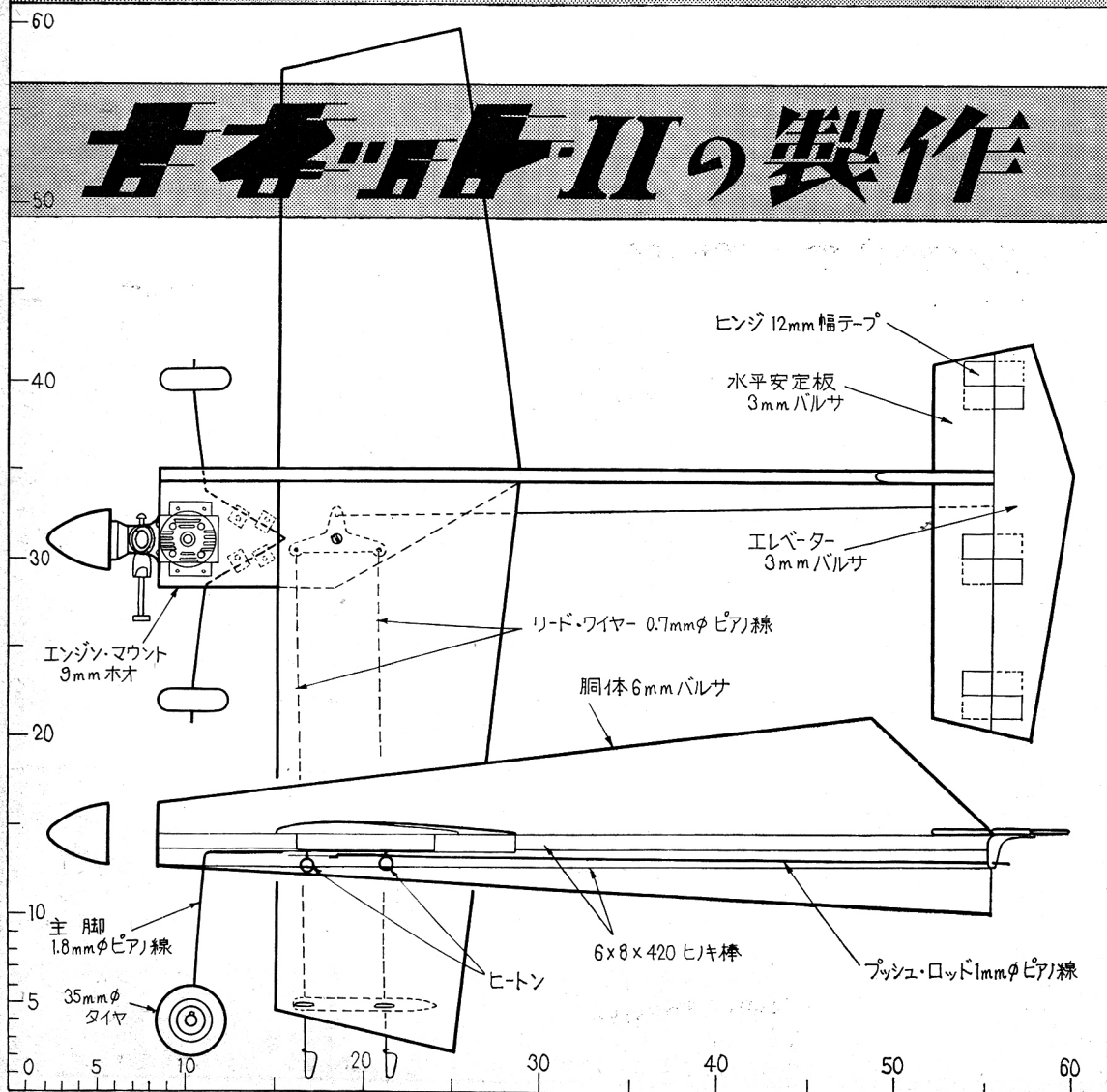




手軽に楽しめる09クラス・スポーツ機

山田典義

# 「ヤナギII」の製作



製作が簡単で、気軽に飛ばせる、ちょっとしゃれたスタイルの09クラスUコン・スポーツ機を作ってみましょう。

## 主翼の製作

主翼は6mm厚バルサ板と6×8ヒノキ棒で作ります。**第1図**の寸法、形状になるように材料を切り出し、木工用の接着剤を用いて、バルサとヒノキをよく接着します（バルサ板も図の位置で前後をつなぎます）。

接着剤が固まったら、前縁から30mmのところまで翼がもっとも厚く、後縁は約1mmの厚さになるように削ります。

前縁と後縁には丸みをつけ、そのあと、翼上面が滑らかな曲面になるように、サンド・ペーパーでよくみがきます。下面もみがいて平滑にしておきましょう。

ヒートンを取り付ける台は6×8ヒノキ棒で作ります。ヒノキ棒を70mmの長さに切断し、ヒートンをねじ込む穴をあけ、一度、ヒートンを取り付けてみます。そのあと、前端は丸く、後端はとがらせて削り、サンド・ペーパーでみがいて整形し、主翼下面に接着します。

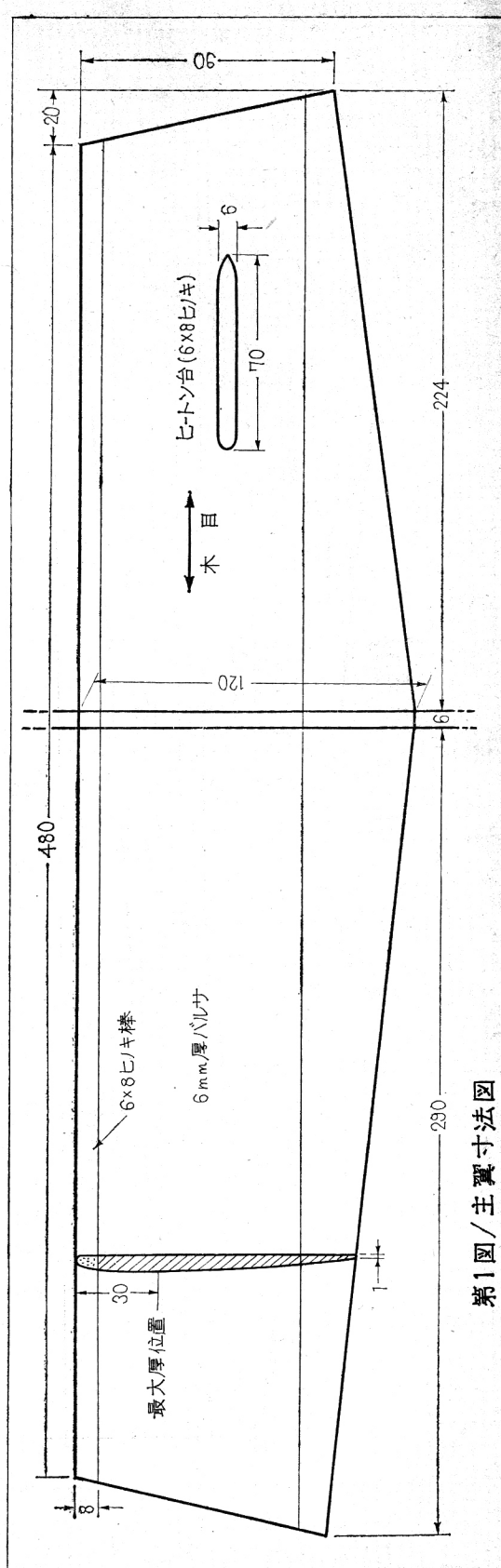
## 胴体の製作

胴体も主翼と同じように、6mm厚バルサ板と6×8ヒノキ棒で作ります。6×8ヒノキ棒は長さが420mmのものを2本用意します。

胴体上側と下側のバルサ部分は、木目の方向が胴体の外側の線に平行になるように注意して、6mm厚バルサ板から**第2図**の寸法、形状になるように切り出して下さい。胴体上側部分と下側部分の原寸図を方眼紙など別の紙に描いておいて、上側部分の上の線、下側部分の下の線が木目に合うように、この紙をバルサ板に張り、紙ごと切断すると簡単です。紙を張るとき、描いた線の外側だけに接着剤を軽く塗り、胴体として使う部分には接着剤がつかないようにします。

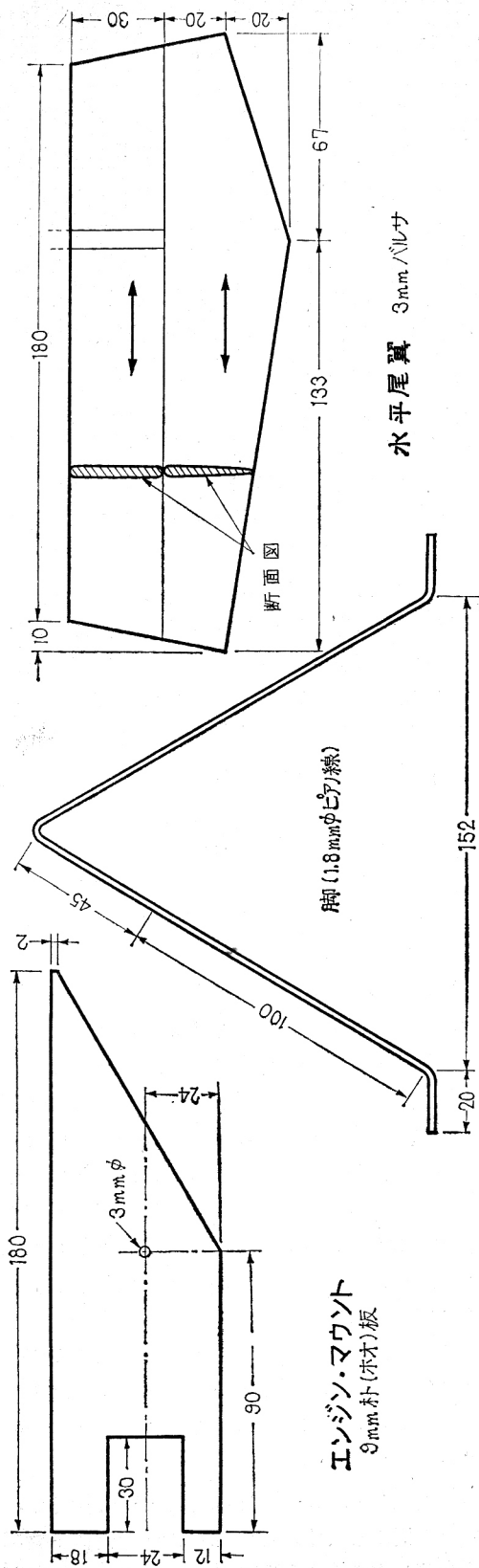
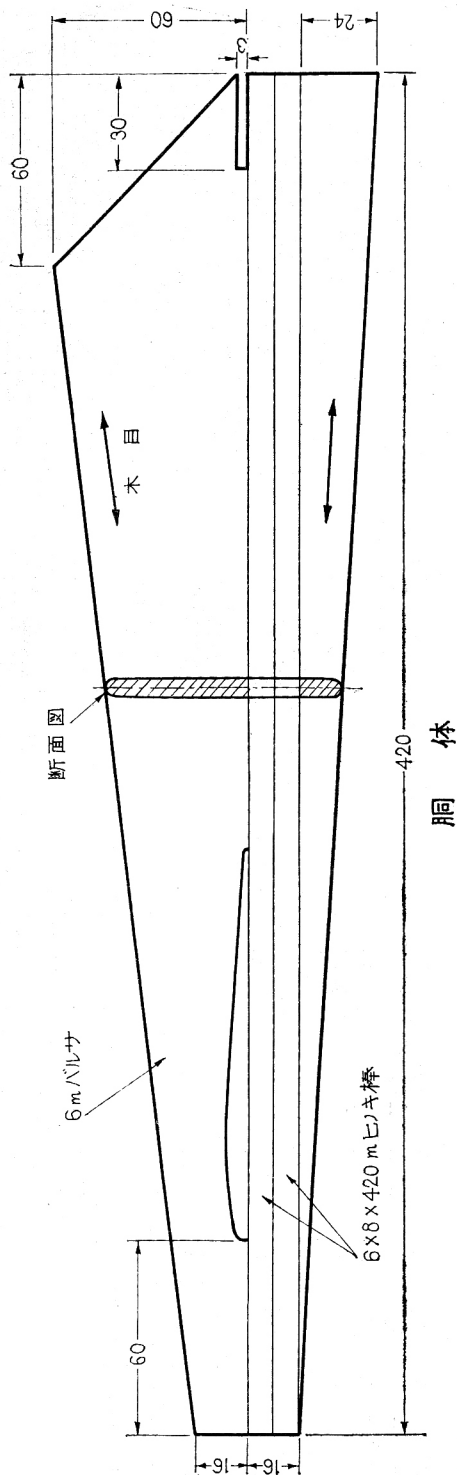
胴体上側部分には 第2図のように、主翼と水平尾翼が通る切欠きを作りますが、とくに主翼の部分は主翼の翼型にぴったり合うように気をつけて加工して下さい。

つぎに、2本のヒノキ棒をならべて接着し、16×6の板にします。これにバルサの胴体下側部分を接着します。上側部分はほんの少量の接着剤で



第1図/主翼寸法図

第2図／各部寸法図



仮止めします。接着剤が乾いてから、胴体の上側と下側に丸みをつけ、サンド・ペーパーで滑らかにします。側面もよくみがいて、接合部の段などが残らないようにしておきましょう。整形後は胴体上側部分をとりはずしておきます。

エンジン・マウントは9mm厚の朴(ホオ)板でつくります。第2図の寸法、形状に加工して下さい。中央の穴はベルクランク取付け用ビス穴です。また、使用するエンジンに合わせて取付け用ビス穴をあけておきます。全体を滑らかにみがいたあと、エポキシ系接着剤を用いて胴体にしっかり取り付けます。

### 水平尾翼の製作

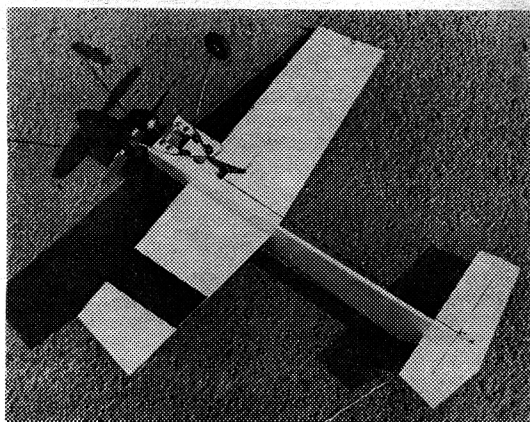
水平安定板と昇降舵は、3mm厚バルサ板で作ります。バルサ板から両者一体の形で第2図の寸法、形状に切り出し、そのあと、水平安定板と昇降舵に分けます。昇降舵は後縁の厚さが約1mmになるように削り、エレベーター・ホーン取付け用ビス穴をあけます。水平安定板、昇降舵とも前縁と後縁に丸みをつけ、全体を滑らかに整形します。

つぎに、水平安定板を胴体に接着します。接着剤が固まるまで、ピンで固定しておきます。昇降舵は全体の塗装が完了してから、布ヒンジを用いて、水平安定板に取り付けます。

### 主翼の取り付け

エンジン・マウントの上面に接着剤をたっぷりつけて、主翼を接着します。接着剤の硬化後、主翼にベルクランク取付け用ビス穴をあけます。また、燃料タンクの枕になるように、主翼前縁の一部をタンクの外形にあわせて削っておくとよいでしょう。

最後に胴体上側部分を接着して、生地は完成です。



➤本機の下面を見る。脚の取り付け方などに注意<

### 下塗～塗装仕上げ

まず、全体に薄いクリヤ・ラッカーを1回塗りサンド・ペーパーで軽くみがきます。つぎに、シッカロールを混ぜたクリヤ・ラッカーの下塗りを行ない、よくサンド・ペーパーをかけます。この下塗りとサンド・ペーパーがけを数回くりかえしすべすべした表面を作ります。

あとは好みの色ラッカーでデザインし、最後にクリヤ・エンビを吹きつけます。

### 全体の組立てと仕上げ

幅12mmの綿テープを使って、昇降舵を水平安定板に取り付けます。脚は1.8mmφのピアノ線で作り、写真1に示すように、木ネジでエンジン・マウント下面に取り付けます。車輪は35×13を使います。ベルクランク、エレベーター・ホーン、ヒートンを所定の位置に取り付けます。プッシュ・ロッドは1mmφのピアノ線で作ります。リード・ワイヤは0.7mmφピアノ線で作ります。

最後に、エンジンと燃料タンクを取り付ければ完成です。重量は約300gになります。重心が主翼前縁付近にあれば、楽に操縦できます。

電気をとうさないあつかいやすい  
丈夫なラインです。ワイヤーに近い  
太サで軽くてできております。

**金属製ではありません！**

22m (11m×2本) ¥450 太サ0.35mm  
28m (14m×2本) ¥570 太サ0.35mm  
(スィーベル付)  
他の規格の製品は順次発売いたします。

**新発売**

**国光印コントロールライン**

**深 津 商 店**

東京都新宿区四谷 2～11  
TEL 03-351-0793 〒160